

# 京都府スポーツ推進計画 (中間年改定)

Sport is a force for good.

スポーツは、良き方向へと導く(推進)力



平成31(2019)年3月

京都府教育委員会

## 1 計画改定の趣旨

京都府では、2014(平成26)年に今後10年間を見通した本府のスポーツ推進に関する基本計画として、「京都府スポーツ推進計画」を策定しました。

本計画策定後、スポーツ庁の創設や「第2期スポーツ基本計画」の策定、更には、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ2021関西と、3年連続で国内で大規模な国際スポーツ大会が開催されるなど、スポーツに関する環境は大きく変化しています。

こうした状況を踏まえ、「京都府スポーツ推進計画」の基本的な趣旨を継承し、各目標の達成に向けて積極的に取り組んでいくことを基本としつつ、これまでの成果や課題を明らかにした上で、今後5年間で必要な施策について新たに計画に盛り込むべきと考え、改定することとしました。

## 2 計画の期間

2014(平成26)年度から2023年度までの10年間です。



ワールドマスターズゲームズ2021関西  
大会マスコット「スフラ」

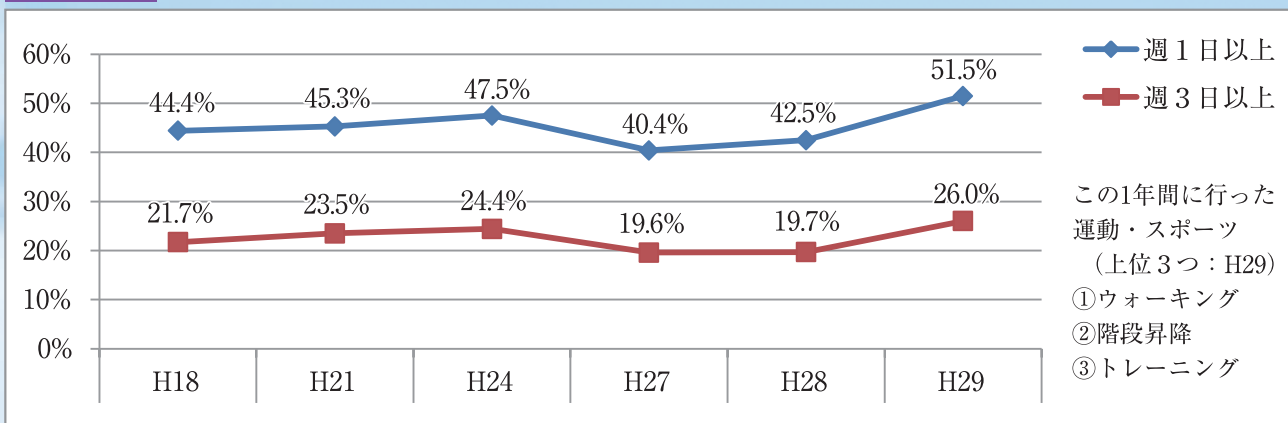
## 3 計画策定以降の本府の運動・スポーツに関する現状と課題

### (1) 成人のスポーツ実施率

- 週1日以上運動・スポーツをする成人の割合は、H29:48.7%(H24:53.6%)、週3日以上では、H29:24.7%(H24:26.8%)であり、前回調査や国の実施率を下回る結果となっています。また、国や本府の目標である週1日以上運動・スポーツをする成人の割合、約65%(週3日以上:約30%)には届いていません。
- 運動・スポーツを行った理由としては、「健康・体力づくり」、「運動不足を感じる」、「楽しみ・気晴らし」など様々です。
- 運動・スポーツをしなかった理由としては、「年をとったから」、「仕事(家事・育児・介護等含む)が忙しい」、「機会がない」、「面倒だから」と続いています。特に70歳以上では、「年をとったから」、30歳代以下と40~50歳代では「仕事が忙しい」、「機会がない」が多く、「仕事が忙しい」、「面倒だから」をあげる人は若い年代ほど多くなっています。

成人のスポーツ実施率の推移

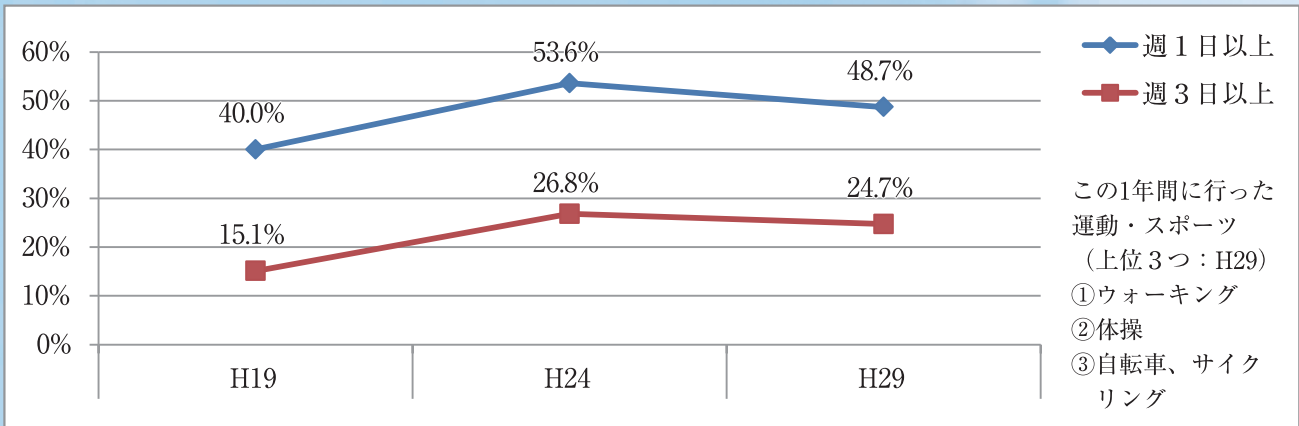
【全国】



<出典> 「平成29年度スポーツの実施状況等に関する世論調査」 (スポーツ庁)



## 【京都府】



<出典>「平成29年度京都府民のスポーツに関する実態調査」（京都府教育委員会）

### (2) 子どものスポーツ実施率

- 学校の体育の授業以外で週1日以上運動・スポーツをしている子どもの割合は、各年齢とも女子より男子の方が高くなっています。
- 小・中学校の時期は年齢が上がるにつれ実施頻度が概ね上昇しますが、高校入学後は低下傾向がみられます。
- 高校入学を機にスポーツ実施率は低下しますが、これは運動部活動加入率（中学校67.2%：平成30年度運動部活動状況調査（京都府中学校体育連盟）、高校43.7%：平成30年度運動部活動実態調査（京都府高等学校体育連盟））が大きく影響していると考えられます。

### (3) 京都府ゆかりの選手の国際大会・国民体育大会成績

- リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会及び平昌オリンピック・パラリンピック競技大会では、計29名の選手が参加し、計4個のメダルを獲得しています。
- 国民体育大会において、目標とする男女総合成績入賞（8位以内）には、本計画策定以降一度も届いていません。（H26：12位、H27：10位、H28：12位、H29：11位、H30：15位）

### (4) 京都府のスポーツ施設整備状況の変化

#### ◆完成

- 京都トレーニングセンター
- 京都府立山城総合運動公園  
弓道場、陸上競技場夜間照明及びスタンド屋根、テニスコート屋根、クラブハウス
- 京都府立丹波自然運動公園  
テニスコート等夜間照明、陸上競技場第2種化整備、クロスカントリーコース、車いす専用練習コース

#### ◆整備中

- 専用球技場「京都府立京都スタジアム」及びクライミングウォール（附帯施設）
- 通年型アイススケートリンク「京都アイスアリーナ」（仮称）

「スポーツどころ」で  
Here we go!



# スマートスポーツ(生涯スポーツ分野)

## 【具体的目標】

- 1 成人の週1回以上のスポーツ実施率を3人に2人(65%程度)に、週3回以上のスポーツ実施率を3人に1人(30%程度)以上にする。
- 2 総合型地域スポーツクラブ(以下「総合型クラブ」という。)の登録・認証等の制度や中間支援組織を整備する。(変更)

## I 生活の中の運動・スポーツの実践

- 1 ライフステージに応じた運動・スポーツの推進
- 2 障害者のスポーツ活動を通じた共生社会実現に向けた取組の推進(充実項目)
- 3 運動・スポーツに関心を持ちながらも実践できない方への誘い
- 4 日常生活の中に運動・スポーツを位置づけるための示唆や環境整備



障害者のスポーツ活動を通じた共生社会の実現  
(全京都車いすハンドボール大会兼全国交流会)

## II 地域の活性化に重要な役割を果たす運動・スポーツ

- 1 総合型クラブのスポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造(充実項目)
- 2 地域スポーツをコーディネートするスポーツリーダーの育成



総合型クラブ育成支援  
(京都ご当地グルメリレーマラソン)

## III 府民の「する」「みる」「ささえる」気持ちを高めるスポーツイベント

- 1 府民が手軽に参画できる地域スポーツイベントの充実
- 2 京都の地域資源を活かしたスポーツツーリズムの推進(充実項目)
- 3 ワールドマスターズゲームズの開催(充実項目)



スポーツツーリズムの推進  
(ワールドマスターズゲームズ2021 関西)



# エンジョイスポーツ(子どもスポーツ分野)

## 【具体的目標】

- 1 子どもの体力を1985（昭和60）年頃の水準まで近づける。
- 2 「運動・スポーツをすることが好きな子どもの割合」を増加させる。
- 3 「学校の体育の授業以外で週1日以上運動・スポーツをしている子どもの割合」を増加させる。

## I 運動・スポーツが好きになる工夫

- 1 体を動かすことが好きになる取組の充実
- 2 体を動かすことが好きになる環境づくり



運動・スポーツが好きになる取組の推進  
(スポーツ・レクリエーション体験)

## II 発達段階に応じた運動・スポーツの推進

- 1 体づくりをより効果的に行うための健康教育の充実
- 2 学校や地域での「体力向上推進プロジェクト」の推進
- 3 総合型クラブとの連携による地域での児童生徒の活動環境の整備
- 4 障害のある児童生徒の体育・スポーツ活動の推進
- 5 運動部活動の活性化



「毎日新聞社提供」

学校運動部活動の推進  
(全国高等学校駅伝競走大会)

## III 子どもたちに意欲を持たせる指導者の育成と支援

- 1 豊かな心を育む指導者の育成
- 2 京都府のスポーツ文化の醸成・伝承
- 3 指導者のネットワークづくり
- 4 退職教員等の優れた指導力を持つ人材の活用

## IV 東京2020大会を契機とした「スポーツごころ」を醸成する取組の推進(新規項目)

- 1 「スポーツごころ」を誘う事業の展開
- 2 共生社会の形成や国際理解教育の推進
- 3 オリンピック・パラリンピック教育によるレガシーの創出



トップアスリートとの交流  
(京のスポーツ夢バンク)

# チャレンジスポーツ(競技スポーツ分野)

## 【具体的目標】

- 1 京都府ゆかりの選手が、オリンピック・パラリンピックや世界選手権をはじめとする国際大会において、毎年メダルを獲得することを目指す。
- 2 国民体育大会において、京都府選手団が男女総合成績常時入賞（8位以内）を果たす。
- 3 公認スポーツ指導者を10年間で1,000名の増員を図るとともに、各団体に登録された全ての指導者が年1回以上資質向上のため研修会を受講する。

## I 未来に羽ばたくジュニアアスリートの育成

- 1 ジュニアアスリートの発掘・育成システムの構築 (充実項目)
- 2 ジュニア期における体づくりのための望ましい食習慣の実践研究及びその普及推進



ジュニアアスリートの発掘・育成  
(京の子どもダイヤモンドプロジェクト)

## II 京都府を拠点に活躍するトップアスリートの育成

- 1 地域活性化を視点にした地域ならではの競技スポーツの推進
- 2 京都トレーニングセンター等との連携によるスポーツ医・科学サポート体制の充実と活用
- 3 地域・企業・大学等が核となるトップアスリート支援体制の確立
- 4 障害者トップアスリートの競技力向上方策の充実 (充実項目)



障害者アスリート育成  
(パラ・パワーリフティング競技)

## III 社会性豊かなアスリートの育成に向けた指導者の育成と指導体制の構築

- 1 優れた指導力を持った指導者の育成・確保
- 2 京都府における競技団体組織体制の充実と国との連携



目指せ！国民体育大会男女総合8位入賞！  
(第73回国民体育大会少年男子バレーボール競技)



京都から  
世界へ！



# 「夢・未来」スポーツ拠点整備(施設充実分野)

## 【具体的目標】

- 1 青少年の夢やあこがれとなり、府民が誇れる専用球技場「京都府立京都スタジアム」の整備
- 2 子どもの発達、健全育成をはじめ、冬季スポーツの競技力の向上や愛好者の裾野拡大につながる「京都アイスアリーナ」(仮称)の整備(変更)
- 3 子どもから高齢者まで、障害の有無や程度に関係なく、誰もが使いやすく、競技スポーツと生涯スポーツ双方の府民ニーズを踏まえた府立運動公園等の整備(充実)

## I 青少年の夢やあこがれとなる環境づくり

- 1 子どもたちの夢とあこがれの舞台となり、府民が誇りを持つことができる施設
- 2 新しいスポーツニーズに対応することができる施設(新規項目)
- 3 手軽にスポーツを楽しめるとともに、競技スポーツの拠点となる施設



「京都府立京都スタジアム」

- ・亀岡市(JR亀岡駅北徒歩3分)
- ・2020年春オープン(予定)
- ・専用球技場(収容人数:21,600人)

## II スポーツに親しみやすい環境づくり

- 1 子ども、高齢者、女性、障害者等誰にでも優しい施設
- 2 「する」「みる」「ささえる」それぞれの立場に立った施設
- 3 安全・安心な施設
- 4 新しいスポーツニーズに対応した施設
- 5 京都を元気にするスポーツ施設(充実項目)



「京都アイスアリーナ」(仮称)

- ・宇治市(京都府立山城総合運動公園内)
- ・2019年オープン(予定)
- ・通年型アイススケート場(24時間営業)

## マルチサポート機能を持つ京都トレーニングセンター

### 【各種プログラム】

- ・トレーニング指導
- ・動作分析
- ・メンタルサポート
- ・栄養相談
- ・メディカルサポート
- ・コンディショニング指導
- ・測定(筋力・基礎体力・体組成)



京都トレーニングセンター

- ・京丹波町(京都府立丹波自然運動公園内)
- ・2016年7月オープン

# ～京都府民みんなが持ちたい「スポーツごころ」～

人々は、日々の生活の中で「よしっ!」「さあ!」「やってみよう!」という前向きで積極的な気持ちを持って行動しています。その前向きな「心のありよう」が、誰もが持っている「スポーツごころ」です。

この「スポーツごころ」を「芽吹かせ」「広め」「深め」「高める」ことを本計画を進めるためのテーマとしました。府民の「QOL (Quality of Life 生活の質)」の向上に大きな役割を果たすスポーツの意義や価値を考慮し、これからも引き続き「スポーツごころ」をテーマとしたスポーツ施策を総合的かつ計画的に推進します。

## スポーツごころ

- 感動：強く心を動かされたい。また、動かしたい。
- 楽しみ：興味を持って、楽しくありたい。
- 向上：さらなる進化を求めたい。
- 健康：心も身体も健やかでありたい。
- 挑戦：未知の世界へ立ち向かいたい。
- つながり：人との結びつきを大切にしたい。
- 公正：思いに偏りなく、正しくありたい。

高める

### チャレンジスポーツ

(競技スポーツ分野)

ジュニア期のアスリート発掘・育成システムを確立するとともに、京都府が誇るトップアスリートや指導者の活躍を支援し、府民と夢や感動を共有します。

### 「夢・未来」 スポーツ拠点の整備

(施設充実分野)

青少年の夢やあこがれとなり、府民の誰もが親しみの持てるスポーツ施設の整備を進めます。

### エンジョイスports

(子どもスポーツ分野)

子どもの頃から体を動かす楽しさや運動・スポーツの楽しさを味わうことにより、生涯にわたって運動・スポーツに親しむことができる健康的な生活習慣を確立します。

### スマートスポーツ

(生涯スポーツ分野)

府民の誰もが、ライフステージやライフスタイルに応じてスポーツに親しみ健康で元気な生活を確立し、スポーツを通じた地域の絆づくりを進めます。

## スポーツごころ

感動・楽しみ・向上  
健康・挑戦  
つながり・公正

芽吹かせる

広める・深める